



平成19年5月18日

各 位

会社名	タカラバイオ株式会社 (コード番号 4974 東証マザーズ)
本社所在地	滋賀県大津市瀬田三丁目4番1号
代表者	代表取締役社長 加藤 郁之進
問合せ先	常務取締役 木村 睦
TEL	(077) 543-7212
URL	http://www.takara-bio.co.jp/
親会社等の名称	宝ホールディングス株式会社
代表者	代表取締役社長 大宮 久 (コード番号 2531 東証、大証第1部)

米国子会社クロンテック社の変異体逆転写酵素に関する特許侵害訴訟について

当社は、平成18年1月6日付けで米国子会社クロンテック社の変異体逆転写酵素に関する米国特許侵害訴訟についてお知らせしていましたが、この度(米国時間5月17日)、クロンテック社が当該訴訟の進捗について公表いたしましたので、その内容を以下にお知らせします。

米国メリーランド地区連邦地方裁判所の陪審は、クロンテック社が、インビトロジェン社が保有する米国特許第6,063,608号(以下「608特許」)の4つのクレームを故意に侵害していたとの評決を下しました。なお当該特許は、RNase H活性を持たない逆転写酵素に関するものです。

この評決は1996年から続いている当該訴訟の中間の段階にあたります。連邦地方裁判所での今後の手続きの中で、クロンテック社は、今回の結果に対して控訴することを検討いたします。

クロンテック社は、陪審の評決を尊重して、608特許の権利が満了する2008年1月まで、PowerScript™ 酵素製品及び PowerScript™ 酵素を含むキットの販売を停止いたします。PowerScript™ を含まないクロンテック製品の販売は継続いたします。

以 上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。